

閉校そして新しい歴史が始まる

太田小学校、大和第一小学校、大和第二小学校、大和第三小学校が、地域とともに歩んだ100年以上の歴史に幕を閉じました。3月2日には大和第三小学校、3月9日には大和第二小学校、3月16日には太田小学校、3月21日には大和第一小学校で閉校式が開催されました。そして閉校となった4つの小学校の統合校として、麻生東小学校が開校。4月8日には同校の開校式が開かれ、新しい歴史がスタートしました。

◎3月2日(土) 大和第三小学校閉校式



◎3月9日(土) 大和第二小学校閉校式



◎3月16日(土) 太田小学校閉校式



◎3月21日(木) 大和第一小学校閉校式・卒業式



◎4月8日(月) 麻生東小学校開校式・入学式



上宿区が囃子の衣装等を整備

平成 24 年度宝くじの社会貢献広報事業

上宿区では、24 年度宝くじの社会貢献広報事業の助成を受け、地域の祭礼活動等を充実させるための備品（囃子の衣装や放送機器等）整備が行われました。

同区は、毎年 5 月に行われる「大宮神社例大祭」において、伝統文化の継承や三世代の交流をととしたコミュニティの推進を図っています。

今後、祭礼などの地域の行事を通じた地域コミュニティの拡大と更なる活性化が期待されます。

この事業は、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的に、さまざまな活動に対して助成されます。



整備された「きつね衣装」



間伐材の利活用と森林環境学習

手賀小と森林ボランティアとの交流会

手賀地内にある森林公園（手賀ふれあいの森）を拠点に活動をしている森林ボランティア「手賀ふれあいの森を守る会」は、公園内の散策路の清掃や森林の間伐等の作業を行う中で、平成 25 年度に統廃合となる手賀小学校の 5・6 年生の児童を対象に、間伐材を利用したウッドバーニング体験と記念植樹を行いました。

ボランティアの方から森林湖沼環境税や森林の大切さについて説明を受けた児童は、森林づくりに対する興味や関心を持ったようです。

子どもたちの防犯対策のために

常陽銀行が防犯ブザーを寄贈

児童 1 人ひとりの防犯の一助にと、4 月 3 日（水）、常陽銀行の麻生・北浦・玉造の各支店長が伊藤市長を訪ね、防犯ブザーを贈呈しました。

これは、安心して生活できる地域社会づくりの一環として、行方市内の新小学 1 年生を対象に同銀行が毎年実施しているもので、今年は、345 個の寄贈を受けました。

防犯ブザーは、簡単な操作で大きな音が鳴り響くようになっており、「もしものとき」に備えることができます。



茨城県集団回収優良団体表彰奨励賞を受賞

癒しの郷フラワークラブ四鹿・杉平地区

2 月 28 日（木）、土浦市民会館において開催された「リサイクル推進・不法投棄防止県民フォーラム」の席上において茨城県集団回収優良団体表彰が行われました。

長きに渡って資源ごみ集団回収の積極的な取り組みを行った功績が認められ、『癒しの郷フラワークラブ四鹿・杉平地区』が奨励賞を受賞しました。

会員の一人は、「できる人ができるだけと活動しているが、この表彰を励みに今後も楽しく続けていきたい」と話していました。

おめでとうございます。

かんしょとわさび菜が銘柄産地再指定

J Aなめがた麻生地区甘藷部会と行方市わさび菜部



J Aなめがた麻生地区甘藷部会

3月18日(月)、行方地域農業改良普及センターにおいて、茨城県青果物銘柄産地指定書交付式が開かれ、かんしょ(麻生地区)が8度目、わ

さび菜が2度目となる銘柄産地の指定を受けました。

銘柄産地は、食の安全・安心を基本に消費者や実需者ニーズに対応した生産・出荷に取り組み、品質等を高く評価された青果物銘柄産地として県が指定するものです。



行方市わさび菜部



子どもたちが創作活動に挑戦

なめがた大使 藤代範雄さんにデザインを学ぶ

3月23日(土)、なめがた大使でもあり国際的に活躍されているグラフィックデザイナーの藤代範雄さんを招き、市内の幼稚園児・小学生・中学生あわせて34名が北浦公民館を会場に、デザインの指導を受けました。

「行方市で栽培している野菜や果物をモチーフにして、自分なりのキャラクターを作る」をテーマに、参加者一同、時間の経つのも忘れて創作活動に熱中していました。

このワークショップは、J Aなめがた北浦地区生産部会連絡協議会とぺんてる(株)の協賛をいただきました。

文化財の保護保存に努めます

文化財巡視活動と案内板設置

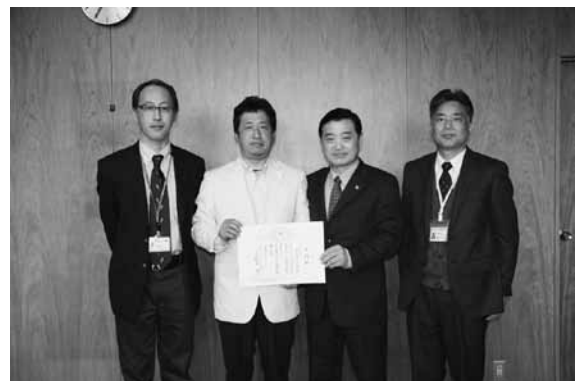
市教育委員会では、文化財保護審議会の助言をいただきながら、文化財の保護保存に努めています。

市内には、現在82の指定文化財(国・県・市)があります。この度、道路沿



いにその所在を示す案内看板を計43基設置したとともに、麻生・北浦・玉造の各公民館前には行方市全体の文化財マップ看板を設置しました。

また、3月13日(水)には、玉造地区において、6カ所の指定文化財の巡視活動を行いました。所有者・管理者様のご協力により、普段なかなか把握することのできない文化財の現状を知ることができました。



消防団員が献血に協力

玉造支団第3分団が献血功労団体表彰

玉造支団第3分団では、献血運動の推進に協力しようと、消防団員が平成19年から毎年、集団献血を行っています。

この度、多年にわたり献血運動に協力したことが認められ、日本赤十字社茨城支部から感謝状が贈られました。

埴沼浩分団長は、「消防団は人数も把握しやすいので、他の分団にも呼びかけたい」と話していました。

病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、献血へのご理解ご協力をお願いします。

第6回行方市学童野球大会新人戦

3月17日(日) 浜野球場

【優勝】麻生スポーツ少年団 【準優勝】玉造ジャイアンツ
【第3位】北浦ペガサス



麻生スポーツ少年団

第5回行方市ゴルフ連盟大会結果

3月6日(水) 霞ヶ浦カントリー倶楽部

【優勝】堀越 吉和 【準優勝】高柳 秋
【第3位】小沼 敏洋
ベスグロ (76) 土子常夫

国・県等が主催するスポーツ大会に市を代表して出場する方に補助金を交付します

社会体育の振興や奨励を図るため、スポーツ大会に出場する団体若しくは個人に対して市より補助金を交付します。

①補助対象となるスポーツ大会は、国、県、公益財団法人日本体育協会(属する専門部も含む)又は公益財団法人日本身体障害者スポーツ協会が主催し、市等の予選会を経て市代表として出場する県大会以上の大会(学校体育団体が主催する大会又は学校活動の一環として開催される大会等を除きます)。

②補助対象者は、市内に住所を有する者及び市内に勤務する者又は市内に所在する団体で、大会要項等に基づく大会の出場登録選手、監督、コーチ等に該当する者。

③補助対象経費は、対象者の大会出場に係る交通費、宿泊費、参加費等

※詳細については、教育委員会スポーツ振興課社会体育Gまでお問い合わせください。

行方市消防団役員

新役員でスタートしました

【本部】 団長・齊藤基 副団長・辺田和夫 副団長・日下誠 副団長・堀田悟 【麻生支団】 副支団長・板橋吉夫 第1分団長・篠崎一夫 同副分団長・杉山勝一 第2分団長・小峯圭一 同副分団長・東山竹雄 第3分団長・藤崎仙一郎 同副分団長・藪崎勝男 第4分団長・大橋勝博 同副分団長・根本忠雄 第5分団長・角口浩 同副分団長・茂木一治 【北浦支団】 副支団長・伊勢山和宏 第1分団長・高橋勲 同副分団長・真家孝之 第2分団長・後谷俊則 同副分団長・岡崎一夫 第3分団長・本多哲也 同副分団長・宮河清 第4分団長・森崎正暁 同副分団長・久米雅文 【玉造支団】 副支団長・郡司正彦 第1分団長・阿部浩幸 同副分団長・塙一彦 第2分団長・野原藤治 同副分団長・郡司良弘 第3分団長・塙昭浩 第4分団長・栗原繁 同副分団長・小沼精一 第5分団長・遠藤芳行 同副分団長・羽生幹男



行方市でドラマロケ

日テレ「35歳の高校生」

最近、バラエティー番組や映画の撮影、CM撮影などで行方市が撮影場所として活用されています。

現在、日本テレビで毎週土曜日に放送されている「35歳の高校生」のドラマロケが行われ、主演で高校生役に扮する米倉涼子さんや溝端淳平さん、榎木孝明さんらが行方市を訪れました。

